

3-10. 商工・観光施設

A. 施設概要

商工業や観光の振興と地域活性化を図るために、商工観光振興施設等 19 施設を設置しています。

商工・観光振興施設 10 施設は、事務室、会議室の他、設置目的に応じて、店舗やレストラン、研修施設、インキュベート室、コールセンター、展示室等が整備されています。

敷地面積をみると、コールセンターなどが整備されている IT 事業支援センター (26,435 m²)、いちゅい具志川じんぶん館 (20,009 m²) が広く、商工会事務所である商工業研修施設 (石川地区、311 m²) や商工業研修施設 (具志川地区、970 m²) が狭いなど、施設の設置目的や施設構成に応じて様々な規模となっています。

その他の施設は、旅客待合所 2 施設と観光トイレ 7 施設が整備されており、敷地面積は平敷屋地区旅客待合所が 300 m²、金武湾港屋慶名地区旅客待合所が 1,068 m²となっています。

■主な業務内容

利用料の徴収、施設修繕のほか、会議室の貸出 (施設による)

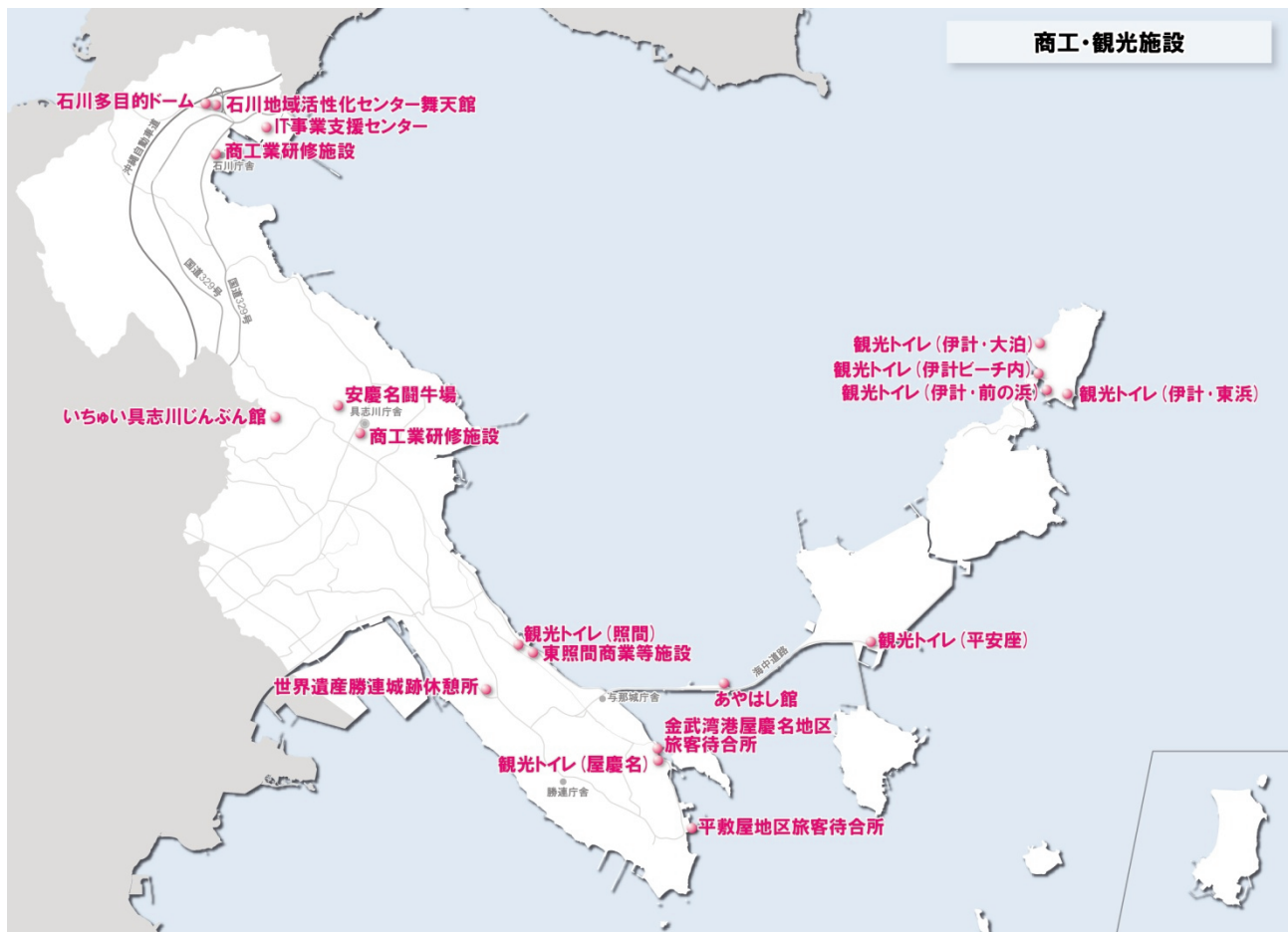
待合所・観光トイレ：観光客や地元客の利用

■商工・観光施設の一覧

No	施設名	施設構成	敷地面積
244	あやはし館	販売所・会議室・資料館・事務所・レストラン	7,959 m ²
245	いちゅい具志川じんぶん館	管理室・情報センター・市民研修室・市民会議室・市民活用室・大研修室・OJT室・研修室・企業業務室 (12 室)	20,009 m ²
246	石川地域活性化センター舞天館	インキュベート室・多目的ホール・会議室・ラウンジ	3,781 m ²
247	東照間商業等施設	店舗・事務室・倉庫・会議室・作業場・車路	5,830 m ²
248	商工業研修施設 (具志川地区)	事務室・会議室	970 m ²
249	商工業研修施設 (石川地区)	事務室・会議室	311 m ²
250	安慶名闘牛場	闘牛場・牛舎・観客席	—
251	石川多目的ドーム	ドーム・牛舎・観客席	14,747 m ²
252	IT 事業支援センター	コールセンター・貸会議室・インキュベート室・託児所・レストラン	26,435 m ²
253	世界遺産勝連城跡休憩所	昼間・事務所・展示室	4,216 m ²
254	平敷屋地区旅客待合所	待合室・事務室・休憩室・給湯室・廊下・トイレ・物置	300 m ²
255	金武湾港屋慶名地区旅客待合所	船舶関係事務室・購買施設・トイレ施設	1,068 m ²
256	観光トイレ (照間)	トイレ	—
257	観光トイレ (屋慶名)	トイレ	—
258	観光トイレ (平安座)	トイレ	—
259	観光トイレ (伊計・大泊)	トイレ	—
260	観光トイレ (伊計ビーチ内)	トイレ	—
261	観光トイレ (伊計・東浜)	トイレ	—
262	観光トイレ (伊計・前の浜)	トイレ	—

* 商工業研修施設 (具志川地区) については、平成 25 (2013) 年度に取り壊し予定です。

■商工・観光施設の位置図



B. 建築物の状況

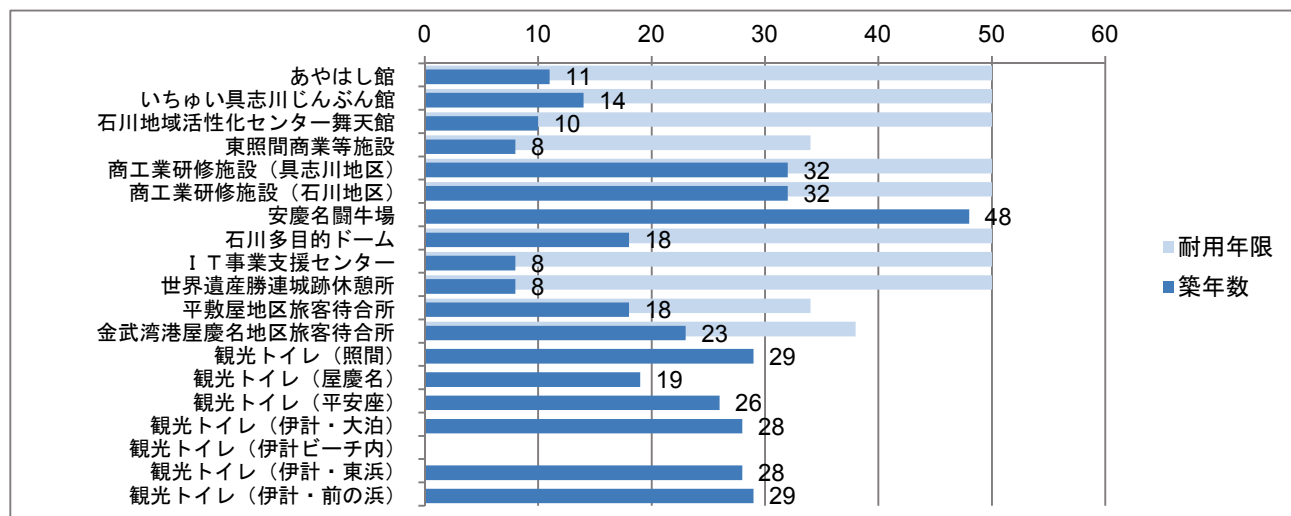
安慶名闘牛場と観光トイレを除く商工・観光施設 11 施設のうち建築年が最も古いのは、昭和 56(1981)年に建築した商工業研修施設（具志川地区）と商工業研修施設（石川地区）であり、築後 32 年が経過し建物の耐用年限 50 年まであと 18 年となっています。また、安慶名闘牛場は昭和 40(1965)年に設置されており、設置後 48 年が経過しています。

商工・観光施設のうち、安慶名闘牛場と観光トイレ、東照間商業等施設を除く建物は、鉄筋コンクリート造又は鉄筋コンクリートブロック造 1～3 階建ての建築で、堅牢かつ耐火性能に優れています。東照間商業等施設は鉄骨造 2 階建ての建築で堅牢です。

■商工・観光施設の建築年・規模・構造・建築面積・延床面積

施設名	建築年	建物規模	建物の構造	建築面積	延床面積
あやはし館	平成 14(2002)年	地上 2 階	鉄筋コンクリート造	1,508 m ²	1,975 m ²
いちゅい具志川じんぶん館	平成 11(1999)年	地上 2 階	鉄筋コンクリート造	2,303 m ²	3,285 m ²
石川地域活性化センター舞天館	平成 15(2003)年	地上 2 階 地下 1 階	鉄筋コンクリート造	1,081 m ²	1,111 m ²
東照間商業等施設	平成 17(2005)年	地上 2 階	鉄骨造	1,623 m ²	1,929 m ²
商工業研修施設（具志川地区）	昭和 56(1981)年	地上 2 階	鉄筋コンクリート造	276 m ²	477 m ²
商工業研修施設（石川地区）	昭和 56(1981)年	地上 2 階	鉄筋コンクリート造	—	311 m ²
安慶名闘牛場	昭和 40(1965)年	—	—	—	—
石川多目的ドーム	平成 7(1995)年	地上 2 階	鉄筋コンクリート造	2,226 m ²	2,410 m ²
IT 事業支援センター	平成 17(2005)年	地上 3 階	鉄筋コンクリート造	4,218 m ²	6,579 m ²
世界遺産勝連城跡休憩所	平成 17(2005)年	地上 2 階	鉄筋コンクリート造	246 m ²	350 m ²
平敷屋地区旅客待合所	平成 7(1995)年	地上 1 階	鉄筋コンクリート ブロック造	210 m ²	210 m ²
金武湾港屋慶名地区旅客待合所	平成 2(1990)年	地上 1 階	鉄筋コンクリート造	273 m ²	216 m ²
観光トイレ（照間）	昭和 59(1984)年	地上 1 階	—	—	28 m ²
観光トイレ（屋慶名）	平成 6(1994)年	地上 1 階	—	—	25 m ²
観光トイレ（平安座）	昭和 62(1987)年	地上 1 階	—	—	24 m ²
観光トイレ（伊計・大泊）	昭和 60(1985)年	地上 1 階	—	—	21 m ²
観光トイレ（伊計ビーチ内）	—	地上 1 階	—	—	—
観光トイレ（伊計・東浜）	昭和 60(1985)年	地上 1 階	—	—	21 m ²
観光トイレ（伊計・前の浜）	昭和 59(1984)年	地上 1 階	—	—	28 m ²

■商工・観光施設の築年数（年）



*耐用年限は、財務省令『減価償却資産の耐用年数等に関する省令』を参考とし、旅客待合所は駐車場用のもの（鉄筋コンクリート造 38 年、ブロック造 34 年）と見なし、その他の施設は細目に記載されたもの以外の建物（50 年）とみなしました。鉄骨造の東照間商業等施設は骨格材の肉厚が 4mm 以上のもの（34 年）と想定しました。

商工業研修施設（具志川地区）と商工業研修施設（石川地区）は、昭和 56(1981)年の建築基準法の改正前に建築された建築物であり、旧耐震基準で建てられていますが、耐震診断、耐震補強ともに未実施となっています。そのほかの施設のうち安慶名闘牛場と観光トイレを除く 9 施設は、いずれも新耐震構造となっているため、特に耐震診断及び耐震補強の必要はありません。

バリアフリー化についてみると、商工業研修施設（具志川地区）や商工業研修施設（石川地区）、安慶名闘牛場では、未対応の箇所が比較的多くなっていますが、その他の施設では、多数の市民・観光客等が利用する施設であることから対応が進んでいます。

商工業研修施設（具志川地区）では平成 5（1993）年に増築、あやはし館では平成 21(2009)年にレストラン改修、東照間商業等施設では平成 22(2010)年に施設改修、石川多目的ドームでは平成 15(2003)年～18（2006）年にドームを設置し、平成 22(2010)年に駐車場整備が実施されています。また、金武湾港屋慶名地区旅客待合所では平成元(1989)年に待合所の建築工事が実施され、他の施設では、これまで外壁、屋根、設備等の大規模な改修工事は行われていません。

■商工・観光施設の耐震状況・バリアフリー状況

バリアフリー化（箇所）

施設名	耐震診断の有無	耐震補強の有無	バリアフリー化（箇所）							視覚障害者誘導用ブロック
			出入口	廊下等	階段	エレベーター	トイレ	駐車場	アプローチ	
あやはし館	—	—	○	○	○	○	△	○	○	○
いちゅい具志川 じんぶん館	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○
石川地域活性化 センター舞天館	適合	不要	○	○	○	○	○	○	○	○
東照間商業等施設	—	—	○	○	○	○	△	○	○	×
商工業研修施設 （具志川地区）	未実施	未実施	○	○	×	—	×	×	○	×
商工業研修施設 （石川地区）	未実施	未実施	○	○	×	—	×	×	○	×
安慶名闘牛場	—	—	○	×	×	—	×	×	×	×
石川多目的ドーム	—	—	○	○	○	—	△	○	○	○
I T事業支援 センター	適合	不要	○	○	○	○	○	○	○	○
世界遺産勝連城跡 休憩所	—	—	○	○	○	—	△	○	○	○
平敷屋地区旅客 待合所	—	—	—	○	○	—	○	—	○	—
金武湾港屋慶名 地区旅客待合所	—	—	○	○	×	×	○	×	×	×
観光トイレ（照間）	—	—	○	○	—	—	×	—	—	—
観光トイレ （屋慶名）	—	—	○	○	—	—	×	—	—	—
観光トイレ （平安座）	—	—	○	○	—	—	×	—	—	—
観光トイレ （伊計・大泊）	—	—	○	○	—	—	×	—	—	—
観光トイレ （伊計ビーチ内）	—	—	○	○	—	—	×	—	—	—
観光トイレ （伊計・東浜）	—	—	○	○	—	—	×	—	—	—
観光トイレ （伊計・前の浜）	—	—	○	○	—	—	×	—	—	—

C. 管理運営の状況

あやはし館、東照間商業等施設、安慶名闘牛場、石川多目的ドーム、世界遺産勝連城跡休憩所、観光トイレ7施設は直営により商工観光課が管理しており、一施設当たりの管理に関わる正規職員は0.5人です。平敷屋地区旅客待合所は直営により管財課が管理しており、一施設当たりの管理に関わる正規職員は0.05人です。金武湾港屋慶名地区旅客待合所は直営により土木課が管理しており、一施設当たりの管理に関わる正規職員は0.1人です。

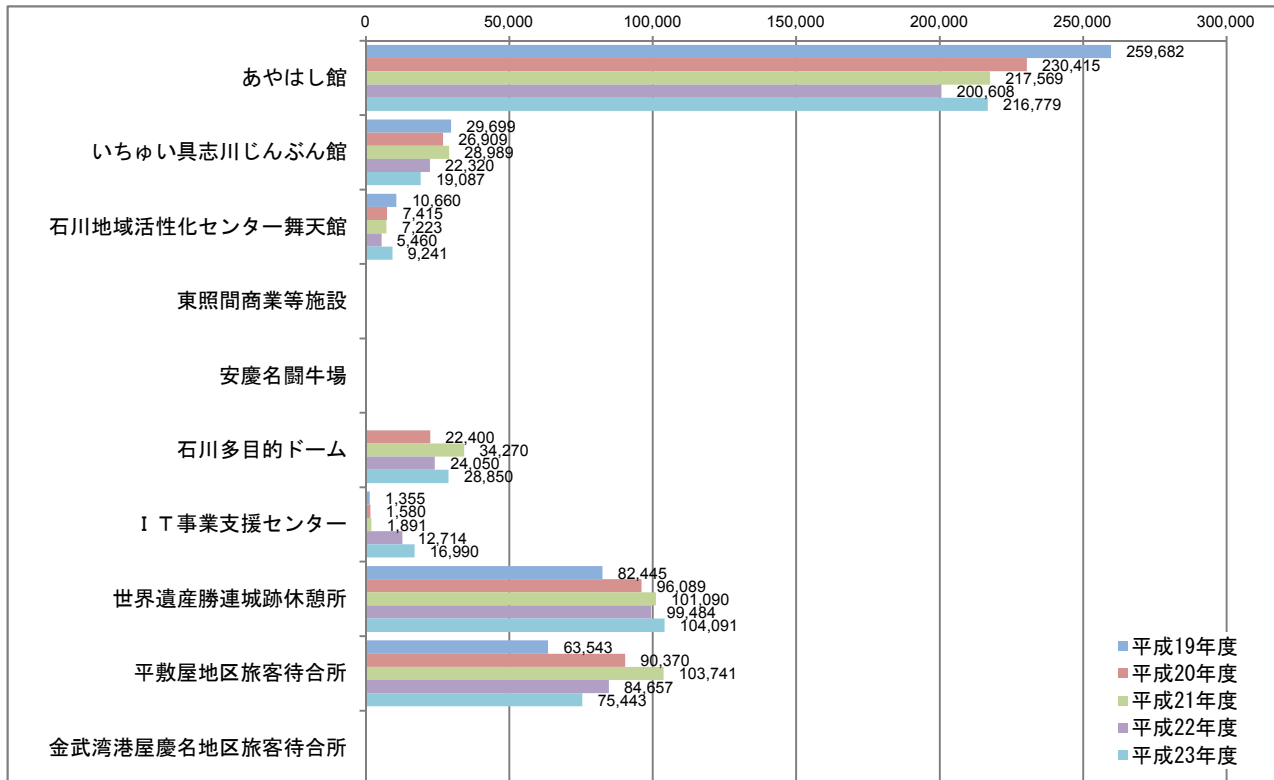
そのほかの5施設は指定管理者による管理運営が行われています。なお、あやはし館は平成25(2013)年より指定管理者による管理運営となる予定です。

■商工・観光施設の管理形態等

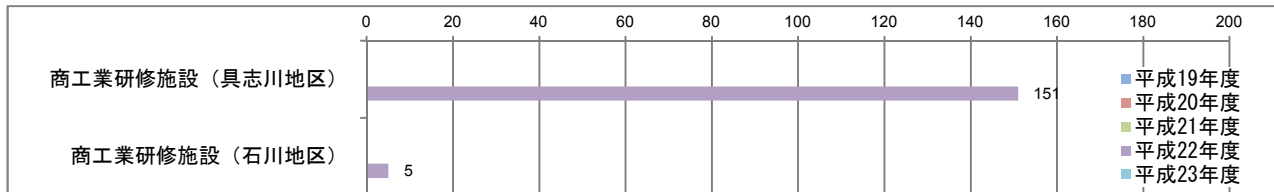
施設名	担当部署	管理形態	正規職員数(人)	利用時間	休所(館)日	開館日数(日)
あやはし館	商工観光課	直営 (H25年度より指定管理者予定)	0.5	7:00～22:00	1階：なし 2階：月曜日(月曜が休日の場合はその翌日)・年末年始(12月29日～1月3日)	365
いちゅい具志川じんぶん館	企業立地雇用推進課	指定管理者	0	9:00～20:00	日曜日・5月3日～5日・慰霊の日・年末年始	303
石川地域活性化センター舞天館	企業立地雇用推進課	指定管理者	0	8:30～22:00	火曜日・年間・年末年始	300
東照間商業等施設	商工観光課	直営	0.5	9:00～18:00	入居企業により異なる。条例等に特段の定めなし。	365
商工業研修施設(具志川地区)	商工観光課	指定管理者	0	8:30～17:15	土・日・祝日	243
商工業研修施設(石川地区)	商工観光課	指定管理者	0	8:30～17:15	土・日・祝日	243
安慶名闘牛場	商工観光課	直営	0.5	0:00～24:00	使用許可申請がある場合のみ利用するため、申請状況により異なる。	365
石川多目的ドーム	商工観光課	直営	0.5	0:00～24:00	使用許可申請がある場合のみ利用するため、申請状況により異なる。	365
IT事業支援センター	企業立地雇用推進課	指定管理者	0	8:30～22:00	年末年始	360
世界遺産勝連城跡休憩所	商工観光課	直営	0.5	9:00～18:00	なし	365
平敷屋地区旅客待合所	管財課	直営	0.05	7:00～18:00	なし	365
金武湾港屋慶名地区旅客待合所	土木課	直営	0.1	8:00～17:00	祝日・旧正・旧盆	347
観光トイレ(照間)	商工観光課	直営	0.5	0:00～24:00	なし	365
観光トイレ(屋慶名)	商工観光課	直営	0.5	0:00～24:00	なし	365
観光トイレ(平安座)	商工観光課	直営	0.5	0:00～24:00	なし	365
観光トイレ(伊計・大泊)	商工観光課	直営	0.5	0:00～24:00	なし	365
観光トイレ(伊計ビーチ内)	商工観光課	直営	0.5	0:00～24:00	なし	365
観光トイレ(伊計・東浜)	商工観光課	直営	0.5	0:00～24:00	なし	365
観光トイレ(伊計・前の浜)	商工観光課	直営	0.5	0:00～24:00	なし	365

商工・観光施設の年間利用者数は、平成 23(2011)年度で総数 474,981 人(利用者数把握済み 14 施設)であり、あやはし館が 216,779 人と最も多く、次いで世界遺産勝連城跡休憩所が 104,091 人、平敷屋地区旅客待合所が 75,443 人となっています。商工業研修施設の利用件数は、平成 22(2010)年度で具志川地区が 151 回の利用に対して、石川地区では 5 回となっています。観光トイレは、500~1,000 人の利用があります。施設別の推移をみると、あやはし館は平成 22(2010)年度まで減少していましたが平成 23(2011)年度では増加へと転じています。また、いちゅい具志川じんぶん館は減少傾向であり、一方、世界遺産勝連城跡休憩所では増加傾向となっています。

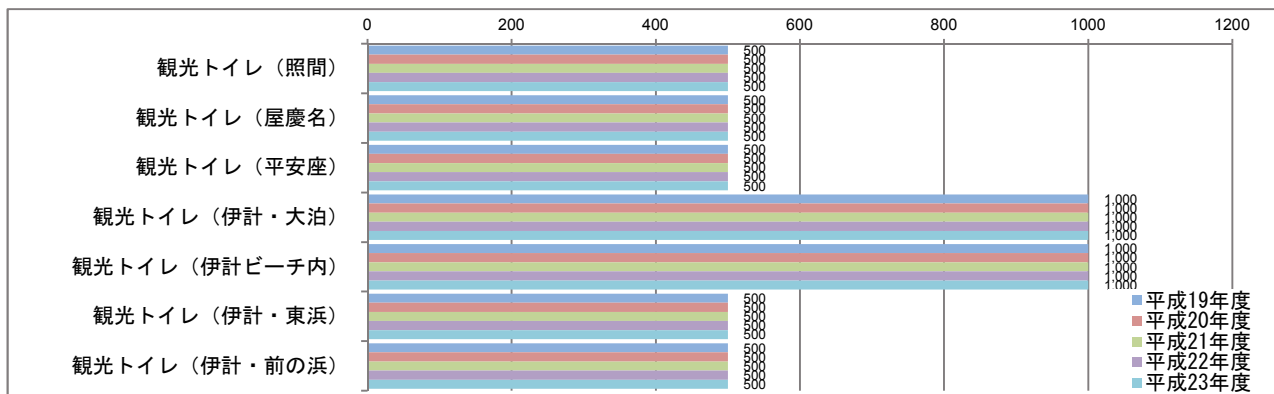
■商工・観光施設（商工業研修施設、観光トイレ除く）の年間利用者数の推移（人）



■商工・観光施設（商工業研修施設）の年間利用件数の推移（件）



■商工・観光施設（観光トイレ）の年間利用者数の推移（人）



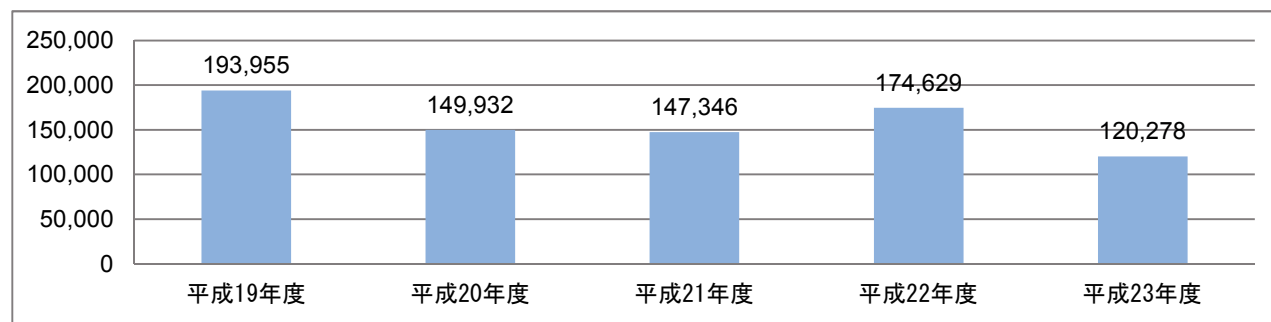
商工・観光施設の年間管理運営経費は、平成19(2007)年度以降減少傾向であり、平成23(2011)年度では120,278千円となっています。

施設別にみると、東照間商業等施設とあやはし館では改修等が実施された年度に大幅に増加しています。また、IT事業支援センターの平成23(2011)年度の年間管理運営経費は、平成19(2007)年度と比較して約1/10となっています。

■商工・観光施設の年間管理運営経費の推移(千円)

施設名	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
あやはし館	17,973	19,247	41,052	16,916	17,527
いちゅい具志川じんぶん館	27,797	32,787	14,253	14,190	13,018
石川地域活性化センター舞天館	13,751	11,476	6,629	7,238	4,081
東照間商業等施設	4,000	4,000	4,000	59,150	10,922
商工業研修施設(具志川地区)	9,081	8,981	9,212	8,712	8,450
商工業研修施設(石川地区)	9,081	8,981	9,212	8,712	8,450
安慶名闘牛場	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
石川多目的ドーム	5,505	5,665	4,000	5,140	5,625
IT事業支援センター	59,252	11,233	11,447	7,482	5,384
世界遺産勝連城跡休憩所	10,460	10,545	10,379	10,349	10,048
平敷屋地区旅客待合所	1,996	2,022	2,159	1,801	1,905
金武湾港屋慶名地区旅客待合所	1,762	1,738	1,781	1,712	1,640
観光トイレ(照間)	4,229	4,223	4,218	4,219	4,219
観光トイレ(屋慶名)	4,229	4,223	4,218	4,219	4,219
観光トイレ(平安座)	4,229	4,223	4,218	4,219	4,219
観光トイレ(伊計・大泊)	4,077	4,071	4,066	4,067	4,067
観光トイレ(伊計ビーチ内)	4,077	4,071	4,066	4,067	4,067
観光トイレ(伊計・東浜)	4,229	4,223	4,218	4,219	4,219
観光トイレ(伊計・前の浜)	4,229	4,223	4,218	4,219	4,219

■商工・観光施設の年間管理運営経費の推移(千円)



平成 23(2011)年度の利用者一人当たりの年間管理運営経費をみると、観光トイレを除く直営による施設では平均 83 円/人であり、平敷屋地区旅客待合所が最も低く 25 円/人、石川多目的ドームが最も高く 195 円/人となっています。また、観光トイレでは平均 6,495 円/人となっています。

指定管理者による管理運営が行われている施設では平均 496 円/人であり、IT 事業センターが最も低く 317 円/人、いちゅい具志川じんぶん館が最も高く 682 円/人となっています。

■平成 23(2011)年度の商工・観光施設利用者一人当たりの年間管理運営経費（円/人）

